＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」自宅療養者支援事業

1 事業概要

【目的】
新型コロナウイルス感染症により自宅療養となった方への生活支援を行います。
また、自宅療養となった妊婦を遠隔管理する産科医療機関を支援します。

【内容】
県と市が連携し、自宅療養者へパルスオキシメーターの配送を行うとともに、希望者には食料品等の宅配及びごみ出し支援を行います。
また、自宅療養となった妊婦を遠隔管理するため、分娩管理装置（iCTG)を購入した産科医療機関に対して補助を行います。

【影響・効果】
外出できない自宅療養者が、少しでも安心して療養できるようになります。

2 特徴やPRポイント

・パルスオキシメーターは県からの情報提供に基づき自宅療養者に配送します。
・食料品等の宅配及びごみ出し支援は、電話又は電子申請により受け付けます。御利用は１回に限ります。
・分娩管理装置（iCTG)を利用することにより、医療機関から遠隔で、胎児の拍数と妊婦の子宮収縮を計測して異変の予兆を把握することができます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部健康づくり課　　担当　齋藤昌宏
連絡先　℡048-528-0601　　内線　ー

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
新型コロナウイルスワクチン接種事業

１ 事業概要

【目的】
　新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命と健康を守るため、令和３年１２月から開始した新型コロナウイルスワクチンの３回目接種等を引き続き実施します。

【内容】
　令和３年１２月から医療従事者、令和４年１月から市民に３回目接種を開始しましたが、引き続き、接種希望者に接種を行うため、個別接種を行う医療機関への接種委託料、集団接種に係る費用、コールセンターに係る費用等を予算化するものです。

【影響・効果】
　新型コロナウイルスワクチンを接種した方について、感染予防効果が経時的に低下すること、また高齢者においては重症化予防効果も経時的に低下する可能性を示唆する報告があること等を踏まえ、３回目接種の接種機会を提供し、感染拡大防止及び重症化予防を図ります。

２ 特徴やPRポイント

・３回目の接種は、供給されるワクチンの約半分をモデルナ/武田社のワクチンが占めます。第６波による感染が急拡大していますので、ファイザー社のワクチン、モデルナ/武田社のワクチン、どちらでも早く打てる方を選択することをお勧めします。

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部健康づくり課　　担当　齋藤昌宏
連絡先　℡048-528-0601　　内線　ー

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」高規格救急自動車整備事業

1 事業概要

【目的】
新型コロナウイルス感染症に係る救急出動の増加に対応するため、新たに高規格救急自動車を導入します。

【内容】
新型コロナウイルス感染症等による傷病者の搬送体制を確保するため、高規格救急自動車１台を導入し、現在の７台体制から８台体制とします。

【影響】
第５波では、傷病者の搬送先が決定するまで長時間を要するケースがありましたが、それに対応するため救急出動体制を確保します。

【効果】
救急要請の増加により救急車が出払ってしまった「空白」の時間をなくし、安定した救急サービスを提供することができます。

2 特徴やPRポイント

新型コロナウイルス感染症等における傷病者の搬送体制を確保するため、人工呼吸器等の高度救命処置用資器材のほか、傷病者を隔離した状態で安全に搬送するための資器材（アイソレーター）を装備した感染症対応車両として運用します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　消防本部警防課　　担当　新井
連絡先　TEL　501-0117　　内線

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」シティプロモーション事業

1 事業概要

【目的】
ポストコロナを見据え、交流人口や関係人口創出のためのシティプロモーションを実施します。

【内容】
電子雑誌、紙冊子及び動画を制作し、旅のストーリーとともに、本市の魅力（宿泊、飲食、観光）をＰＲします。

【影響】
特に若い世代の情報収集手段の中心である電子メディアを利用するほか、様々な媒体への拡散を図ります。

【効果】
スポット的かつ一過性の紹介ではなく、継続的なＰＲを行い、市全体のブランド化・集客につなげます。
著名人の起用によって訴求力を高めるとともに、本市のファン獲得を目指します。
現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって人流が抑制されていますが、収束後には交流人口・関係人口の増加、地域経済活性化が期待できます。

2 特徴やPRポイント

著名人を使ったブランディングシティプロモーション
首都圏での例は極めて少なく、複数メディアを通じた色々な入口からアプローチできるプロモーションは埼玉県初となる見込み。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　市原
連絡先　℡　048-524-1115　　内線　214

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」キャッシュレスで地域応援事業

1 事業概要

【目的】
人との接触機会を減らす取り組みとして有効なキャッシュレス決済を促進することで感染症対策を進めるとともに、コロナ渦で落ち込んだ消費を喚起するため、市内の指定したキャッシュレス決済加盟店において、キャッシュレス決済サービスを利用した方を対象に、期間限定でポイントを付与し、市内のお店を応援します。

【内容】
キャッシュレス決済を利用し、市内の指定した店舗にて決済をした方に対し、決済金額の２５パーセントを還元するキャンペーンを実施します。また、併せてデジタルによる地域活性化を推進するため電子地域通貨の導入検討を行います。

【効果】
熊谷市内のキャッシュレス決済サービス加盟店に限定したキャンペーンを実施することで、市内問わず市外からの消費喚起が期待でき、市内店舗の事業継続を応援していきます。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
消費喚起の事業については、プレミアム付商品券等の紙媒体を使用した事業を行っておりましたが、熊谷市として初めて電子決済を活用した消費喚起事業を行います。

【ＰＲポイント】
キャッシュレス決済金額に対して２５パーセントの還元率を実施し、令和４年６月頃より２か月程度実施する予定です。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商工業振興課　　担当　柳川
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　499

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」子育て世帯学校給食応援事業

1 事業概要

【目的】
給食食材費の価格上昇分を市が負担（無料化）することで、新型コロナウイルス感染症による経済的な影響を受けている子育て世帯を応援することを目的とします。

【内容】
保護者が負担する給食費への上乗せとして、市立小中学校に在籍する児童生徒1人当たり月額200円（年額2,200円）を公費で負担します。

【経緯】
学校給食費については平成26年4月の改定以来据え置いてきましたが、食材価格の高騰により、給食に求められる基準栄養量の確保が難しい状況にあります。

【影響・効果】
食材費の上昇分を市が負担（無料化）することで、子育て世帯を応援します。また、給食で安定的に食材を購入することで地元の生産者や給食食材業者への支援にもつながります。

【事業費】
30,160千円

2 特徴やPRポイント

食材費の上昇分を市が負担（無料化）することで、子育て世帯の負担が増加することを抑止します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　小暮・高橋
連絡先　TEL048-524-1111　　内線　547

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
予防接種事業

1 事業概要

【目的】
予防接種法に基づくＡ類、Ｂ類疾病のうち、政令で定められた対象疾病に対して伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とします。

【内容】
本市では、ＨＰＶワクチン定期接種（子宮頸がん定期予防接種）の積極的勧奨を令和３年12月から再開しています。
令和４年度からは、新たに、接種開始年齢の始期を中学１年生から小学６年生に引下げ、対象年齢を拡大します。

【経緯・経過】
ＨＰＶワクチン定期接種（子宮頸がん定期予防接種）の積極的勧奨の再開により、熊谷市では中学１年生から高校１年生相当の対象者へ令和３年12月から前倒しして順次個別通知による勧奨を行っています。

【影響・効果】
ＨＰＶワクチン定期接種（子宮頸がん定期予防接種）の積極的勧奨再開を機に、定期予防接種の開始年齢の始期を小学６年生に引き下げて接種機会を拡大し、ワクチン接種によりＨＰＶの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できることが期待されます。

2 特徴やPRポイント

令和４年４月に新たに対象となった小学６年生へ個別通知をします。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市民部母子健康センター　　担当　長島
連絡先　℡　048-525-2722　　内線

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
造血幹細胞移植後ワクチン再接種費用補助事業

1 事業概要

【目的】
造血幹細胞移植によって、定期の予防接種の予防効果が低下又は消失し、再接種が必要と医師が認めた者に対して、再接種費用を助成することで被接種者の経済的負担を軽減し、疾病及び感染症のまん延を防止します。

【内容】
小児がん等の治療を目的とした造血幹細胞移植により、移植前に接種したワクチンの免疫が低下又は消失したため、再接種が必要と医師が認めた者に対して、再接種費用を助成します。

【対象者】
・造血幹細胞移植によって、移植前に接種した予防接種法第２条第２項に定められた疾病（Ａ類）にかかる予防接種ワクチンの免疫が低下又は消失したため、再接種が必要と医師が認める者。
・再接種を受ける日において、熊谷市内に住所を有している２０歳未満の者。
・令和４年４月１日以降の再接種であること。

【対象ワクチン】
予防接種法第２条第２項に定められた疾病（Ａ類）にかかる予防接種
⇒ジフテリア、麻しん・風しん、水痘、Ｂ型肝炎、ＨＰＶワクチンなど

【影響・効果】
感染症の発生予防や症状の軽減が期待される場合は、移植後の予防接種の再接種が推奨されていますが、その費用は被接種者（保護者）の自己負担となっていることから、被接種者の経済的負担を軽減し、疾病及び感染症のまん延を防止するものです。

2 特徴やPRポイント

3 その他

事業の実施に当たっては、埼玉県の補助金を活用する予定です。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　長島
連絡先　℡　048-522-2722

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
安全なまち推進事業

1 事業概要

【目的】
犯罪抑止のための防犯カメラ設置や、地域の防犯活動を支援することによって、犯罪のない安心で安全なまちづくりを推進します。

【内容】
① 市内主要箇所に防犯カメラ１０台を新設します。
② 地域の防犯パトロール組織の青色防犯パトロール車燃料費について補助を拡大します。

【経緯】
市では、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めています。犯罪抑止効果を高めるため、熊谷警察署と協議のうえ、防犯カメラを市内の効果的な場所に設置します。
また、「地域の安全は地域で守る」の意識のもと、防犯活動を行っていただいている自主防犯活動団体の青色防犯パトロール車に対する補助金を年間１台につき２万円から３万円に増額します。

【効果】
防犯カメラによる犯罪抑止力により、市内の防犯を推進し、犯罪のない地域社会の安心・安全に寄与することが期待できます。
青色防犯パトロール車にかかる維持管理費用を拡充することにより、地域の防犯活動を支援します。

2 特徴やPRポイント

市内主要箇所に設置される防犯カメラは、令和４年度末までに合計で１２７台になります。
また、青色防犯パトロールは、令和４年１月末現在で１６団体で実施され、６２台が稼働しています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・（無）　）

担当者　市民部安心安全課　　担当　田沼・秋山
連絡先　℡048-524-1111　　内線　284・339

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
ゾーン30整備事業

1 事業概要

【目的】
市民生活に直結する生活道路において、車両の速度抑制を行うことにより、歩行者等の安全性の向上を図り、安心して通行できる道路環境の整備をおこないます。

【内容】
区域を定め車両の最高速度を時速３０ｋｍに規制する「ゾーン３０」に合わせ、区画線、路面標示及び速度抑制施設等の設置を行います。令和４年度は籠原南地区の約４０haのエリアにおいて、市民生活に直結する生活道路で歩行者等の安全を確保するための工事を行います。

【効果】
交通管理者である埼玉県警察や地元自治会等と連携し、生活道路における通過車両の侵入や車両の速度抑制を行うことにより、地域全体で歩行者に対する安全性の向上を図ります。

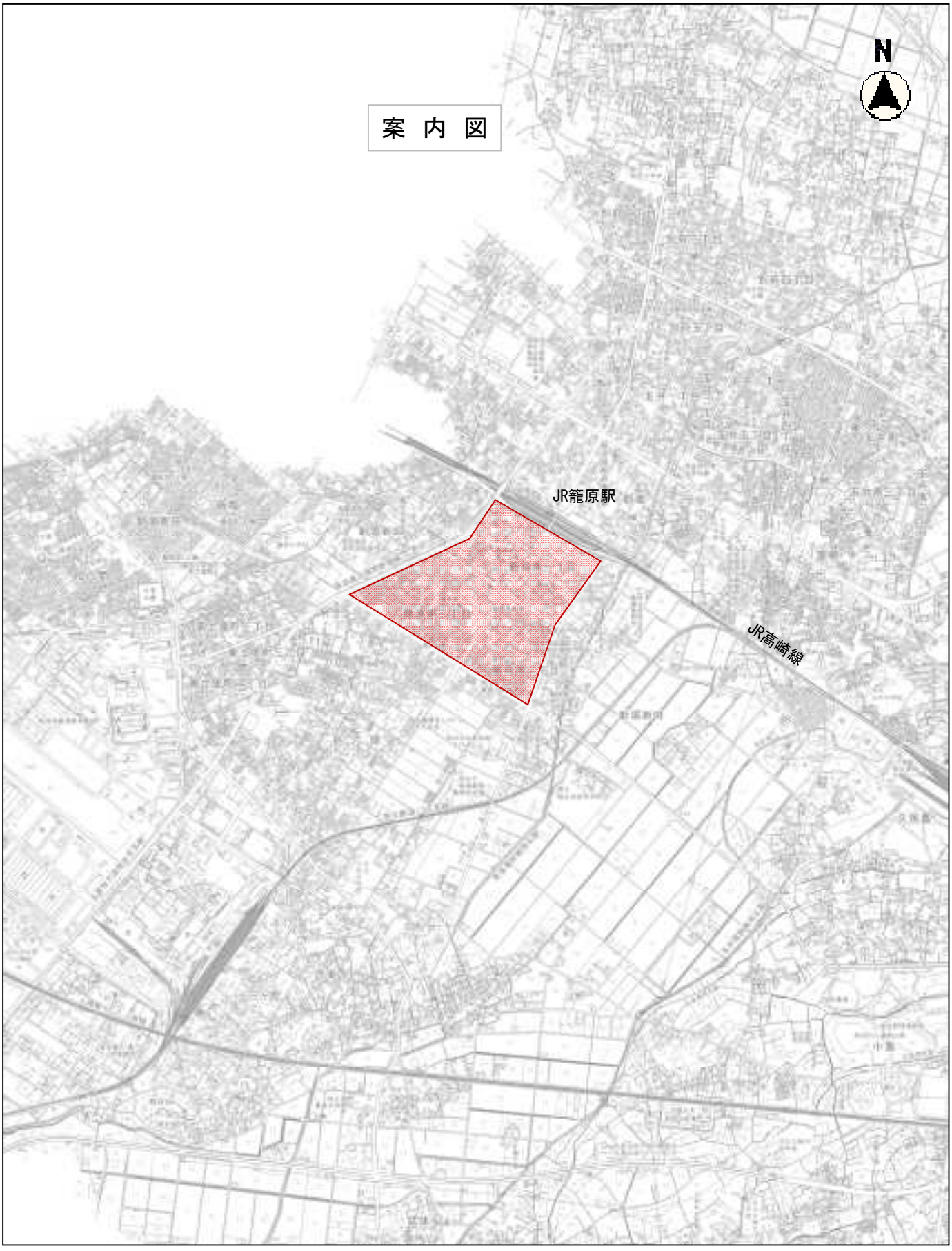
2 特徴やPRポイント

従前のゾーン３０では、速度規制、区画線及び路面表示等の設置により歩行者等に対するの安全対策を実施していましたが、令和４年度からは、交通管理者（埼玉県警察）が行う速度規制にあわせて、地元自治会や警察等と連携しながら、道路管理者（熊谷市）により、効果的な箇所に車両の速度抑制効果のある狭窄やハンプ等の物理的デバイスの設置を行います【ゾーン３０プラス】。これらにより、地域全体の生活道路における車両の速度抑制効果をより高め、安心安全のまち熊谷を造ります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　）

担当者　建設部維持課　　担当　金子
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　543



縮尺　1：20000

1000　500　0

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
新星川改修事業

1 事業概要

【目的】
新星川の河川改修を進め、治水対策を推進します。

【内容】
新星川の護岸工事を行います。
場所　中央三丁目地内
河川改修工事　工事延長L＝30.0m
水路切回工事　工事延長L＝68.0m

【効果】
新星川が整備されることにより、中心市街地を流れる新星川流域において、大雨や集中豪雨等による河川氾濫を減らすなど、浸水被害の軽減に大きな効果があります。

2 特徴やPRポイント

護岸工事を行い、新星川改修事業を推進します。

○整備状況
昭和５６年４月準用河川指定
指定延長L=2,406m（うち認可事業計画1,680m）　整備済L=1,488m
河川整備率　現　　状：61.8%（うち事業計画区間　88.6%）
　　R4整備後：63.1%（うち事業計画区間　90.4%）

3 その他

※ 資料の有無(　有　・　(無)　)

担当者　建設部　河川課　担当　茂木
連絡先　TEL 048－524－1111　内線　352

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「暑さ対策」ラグササイズ動画で暑熱順化事業

1 事業概要

【目的】
熊谷市民を中心に、熱中症ピークシーズン前からの暑さに備える対策である「暑熱順化」の周知及び実践の機会として「ラグササイズ動画」の発信及び周知活動を行い、熱中症ピークシーズンの熱中症搬送者数を減らすことを目的とします。

【内容】
ラグササイズ考案者の三宅 敬（読み：みやけ たかし）氏（特定非営利活動法人ワイルドナイツスポーツプロモーション理事長）監修のもと、初級と上級のラグササイズメニューを考案し、レクチャー動画を配信することで熱中症対策を推進します。

○ラグササイズ動画の制作
・視聴者が動画に合わせて運動できるよう、カウントや休憩時間を設けたトレーニング動画を制作します。なお、動画は2本制作し、熊谷市公式のYouTubeチャンネルにアップロードする予定です。
動画の内容：
①「60歳以上の運動習慣のない人を対象とした初級編」
②「①以外の人を対象とした上級編」　　の計2本

○ラグササイズ動画の周知
・SNS上での周知活動及びSNSの機能を使ったプレゼント企画を実施します。また、関係各所にチラシを設置します。

2 特徴やPRポイント

暑さ対策と言えば夏本番に講じるイメージが強いですが、この事業は、「夏の暑さが本格的になる前に身体を暑さに適応させ熱中症にならない身体づくりを促進する」という暑さ対策です。
レクチャー動画には本市を拠点に活動する埼玉パナソニックワイルドナイツとアルカス熊谷の選手が出演する予定です。

3 その他

この事業は、暑さ対策プロジェクトチームの発案によるものです。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　総合政策部ラグビータウン推進課　　担当　新井
連絡先　TEL 048-524-1135　　内線　341

日本気象協会推進
熱中症ゼロへ® 2021

暑さに慣れて
熱中症を予防しよう

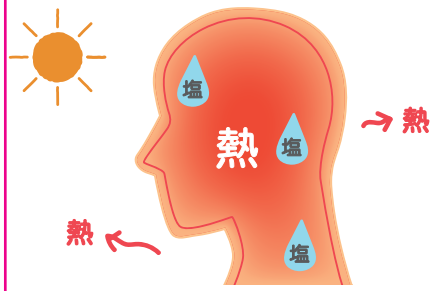
暑熱順化ポイントマニュアル

暑熱順化とは

暑熱順化とは、体が暑さに慣れることです。
暑い日が続くと、体は次第に暑さに慣れて(暑熱順化)、暑さに強くなります。

暑熱順化による体の変化

暑熱順化できていない時



- 皮膚の血流量が増えにくく、熱放散しにくい
- 汗に含まれる塩分が多く、ナトリウムを失いやすい
- 体温が上昇しやすい　など

熱中症になりやすい状態

暑熱順化できている時



- 皮膚の血流量が増えやすく、熱放散しやすい
- 汗に含まれる塩分が少なく、ナトリウムを失いにくい
- 体温が上昇しにくい　など

熱中症になりにくい状態

※暑熱順化ができても、数日暑さから遠ざかると暑熱順化の効果はなくなってしまいます。
自分が暑熱順化できているかをいつも意識し、暑熱順化できていない時には、特に熱中症に注意しましょう。

暑熱順化に有効な対策

日常生活の中で運動や入浴をし、汗をかき、体を暑さに慣れさせましょう。
個人差もありますが暑熱順化には、数日から2週間程度かかります。
暑くなる前から暑熱順化のための動きや活動を始め、暑さに備えましょう。

日常生活でできる暑熱順化するための動きや生活

ウォーキング・ジョギング
(帰宅時に一駅分歩くなど)

ウォーキング 運動目安 30分
ジョギング 運動目安 15分
頻度目安 週5回



サイクリング

運動目安 30分
頻度目安 週3回



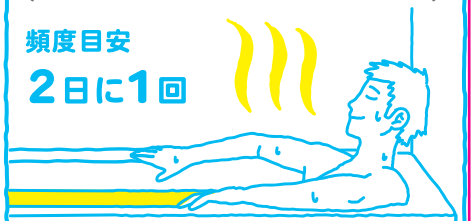
適度な運動
(筋トレやストレッチなど適度に汗をかくもの)

運動目安 30分
頻度目安 週5回～毎日



入浴
(シャワーだけでなく、湯船に入るもの)

頻度目安 2日に1回



※上記はあくまで目安となります。個人の体質・体調、その日の気温や室内環境に合わせて
無理のない範囲で行ってください。運動時は水分や塩分を適宜補給して、熱中症に十分注意してください。

2021年度は下記のオフィシャルパートナー各社の協力により、啓発活動を実施します。
日本コカ・コーラ株式会社、エバラ食品工業株式会社、東芝ライフスタイル株式会社、株式会社空調服、カバヤ食品株式会社、株式会社LIXIL、
株式会社リベルタ、佐藤製薬株式会社、花王株式会社、株式会社ギンビス、株式会社くらこん、三幸製菓株式会社、株式会社永谷園、
株式会社東急ハンズ、株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ、株式会社小川

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「暑さ対策」通学で日傘をさそう事業

1 事業概要

【目的】
○日傘を利用することで、体温上昇と脱水を防ぎ、熱中症を予防します。また、小学生が日常的に日傘を利用することで、周辺の市民にも日傘を意識付け、だれもが日傘を利用しやすい環境を整えます。

【内容】
○市内在住の小学生に対し熊谷市オリジナルの日傘を配付し、通学や学外活動等で利用してもらうことで、熱中症リスクを低減します。
○小学校を通じて全児童に配布します。市外の小学校に通う児童については、個別に対応します。
○令和５年度以降は、新入生及び転入生に配付します。

【効果】
環境省実証実験の結果(https://www.env.go.jp/press/106813.html/)より
○日傘を使用する事で暑さ指数（WBGT）が１～３℃程度下がりました。
○帽子のみと比較して発汗量が約１７％減少しました。
○街路樹がない場所では日傘をさすことで、１０m間隔で植樹した場合と同じ効果が得られました。

2 特徴やPRポイント

○晴雨兼用の日傘です。
○本市では、小学生の傘さし登下校に令和2年6月から取り組んでいます。メリットとしては、①日射を遮る、②急な雨にも対応できる、③ソーシャルディスタンスが保てマスクを外せる、④目立つため交通事故防止になる、⑤家庭にある傘を利用するので特別な費用をかけないですむ、です。日傘を使用することで、熱中症予防と新型コロナウイルス感染症対策の強化を図ります。

3 その他

この事業は、暑さ対策プロジェクトチームの発案によるものです。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会学校教育課　　担当　久保
連絡先　℡048-524-1111　　内線　386

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
市民協働「熊谷の力」空き家利活用促進事業

1 事業概要

【目的】
市内に存する空き家の利活用を促進させるため、市と建築士の有資格者が協働して、利活用に必要な手続き等を広く周知し、空き家利活用希望者等を支援し、地域の活性化に資することが目的です。

【内容】
空き家利活用に必要な手続きなどのガイドブックを作成し、周知のためのセミナー等を開催します。また、実際に利活用を検討している方の個別相談も実施します。

【影響】
空き家を利活用するための流れ（手続き）等を分かりやすく解説することにより、移住定住、二地域居住、中心市街地の活性、農業振興等、地域経済の活性化に寄与します。

【効果】
空き家を利活用するための分かりやすい冊子を作成することにより、利活用に対する心理的ハードルを下げ、空き家数の減少や地域活性化等の効果が生じます。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
埼玉県建築士事務所協会熊谷支部と協働することにより、住宅の専門家である建築士の目線で空き家を利活用するための方法等を広く提供する事業は県内では初めてとなります。

3 その他

協働事業者：一般社団法人埼玉県建築士事務所協会　熊谷支部
支部長　植松敦史
本事業は、市提案の協働事業として公募し、選考により決定しました。
２団体から応募があり、空き家対策に強い関心を持っていることが伺えました。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部安心安全課　　担当　持田
連絡先　℡048-524-1111　　内線　328

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
市民協働「熊谷の力」ひろせ野鳥の森駅駐輪場整備事業

1 事業概要

【目的】
ひろせ野鳥の森駅利用者駐輪場の整備及び利用に関する啓発について、埼玉県立熊谷工業高等学校と協働して実施します。

【内容】
ひろせ野鳥の森駅構内駐輪場の補完として利用されている駐輪場の整備及び利用に関する啓発について、市民協働「熊谷の力」事業として募集したところ、熊谷工業高等学校から応募があり、同校土木科の生徒が授業実習の中でスペースの明確化等の使いやすい環境を整備するとともに、利用に関する啓発を行います。

【効果】
熊谷工業高等学校土木科の生徒が駐輪場の整備及び利用に関する啓発を行うことで、自転車駐輪場の環境整備のみならず、生徒の技術習慣と地域への課題意識や貢献の意識を醸成し、将来、地域・社会を担う人材の育成が期待されます。
また、駅周辺地域の放置自転車防止が期待されます。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
熊谷工業高等学校土木科の生徒が駐輪場の整備及び利用に関する啓発を行うことで、自転車駐輪場の環境整備のみならず、生徒の技術習慣と地域への課題意識や貢献の意識を醸成し、将来、地域・社会を担う人材の育成が期待されます。

3 その他

協働事業者：埼玉県立熊谷工業高等学校　校長　持田雄一
本事業は、市提案の協働事業として公募し、選考により決定しました。

※ 資料の有無（　有　・（無））

担当者　市民部安心安全課　　担当　木村
連絡先　TEL048-824-1111　　内線　285

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
子育て支援･保健拠点施設整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化が進行する保育所や保健施設等の再編及び機能移転と、子どもの遊びの場・学びの場や子育てに関する相談機能を有する（仮称）こどもセンターの整備を複合的に行い、子育て・保健に係る機能の充実や連携強化を図ります。

【内容】
以下の機能を有する複合施設を整備します。（カッコ内は各施設の延べ床予定面積。５施設計約7,670㎡）
・（仮称）こどもセンター：子どもの遊び場、学びの場や子育てに関する相談機能を有する施設（約2,750㎡）
・（仮称）新石原児童クラブ：120人規模の放課後児童健全育成事業所（約500㎡）
・（仮称）保健センター：成人保健及び母子保健に関する事業を行う行政施設（約2,300㎡）
・（仮称）中央保育所：150人規模の保育を行う公立保育所（約1,800㎡）
・休日・夜間急患診療所：内科及び小児科の比較的軽度な症状の方を診療する施設（約320㎡）

【効果】
・行政と民間事業者が連携し、子育て支援と健康づくりに関するきめ細かいサービスを提供します。
・遊び、学びと相談の場が併設された、子育て世代の憩いの場を整備し、子どもの健康や発育、発達に関する不安、保護者の心身の不調や育児不安など、複合的な問題の早期発見や深刻化の防止に繋げていきます。

2 特徴やPRポイント

・本市初のＤＢＯ事業であり、事業費の削減効果が期待できます。また、運営事業者が、設計・建設段階から関わり、無駄のない施設配置、動線計画が可能になります。
・（仮称）こどもセンターの運営においては、民間事業者のノウハウが発揮され、多様な遊びの場、学びの場を提供します。
・敷地の屋外には子どもの遊び場のほか、ウォーキングコースや健康遊具コーナー等を設け、健康づくりのために多世代で利用できる施設とします。
・（仮称）こどもセンターの軽体育室や音楽室などは、夜間に一般貸し出しを行い、多世代が利用できる施設とします。

3 その他

事業スケジュール【予定】
令和４年４月上旬：事業者選定に係る募集要項等の公表
〃　５月～10月：審査及び優先交渉権者の選定
〃　12月：事業実施に係る契約の締結
令和５年１月～令和８年３月：設計・建設・開業準備期間（３年３か月間）
令和８年４月～令和23年３月：維持管理・運営期間（15年間）

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部こども課　　担当　新島･五十嵐
連絡先　℡048-524-1111　　内線　426

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」民間保育所等施設整備事業

1 事業概要

【目的】
「第２期熊谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、新たな教育・保育施設等が整備されることにより、安心して子育てできる環境づくりと待機児童の解消を図ります。

【内容】
第二なでしこ保育園が移転し、幼保連携型認定こども園へ移行するための整備費用及び第二くるみ保育園が園舎を新築する費用の一部を補助します。また、(仮称)篭原さみどり認定こども園の整備に係る２年目の整備費用の一部を補助します。

【効果】
認定こども園の整備により、保護者の教育・保育のニーズに応えるとともに、保育所の整備と合わせて定員を拡大し、保育所等の入所希望者の多くを占める０歳から２歳児の受け入れ枠の確保を進め、待機児童の解消を図ります。

【スケジュール】
令和４年度、令和５年度の２箇年度で整備を行い、令和６年度の開園を目指します。
(仮称)篭原さみどり認定こども園については令和４年度に整備を完了し、令和５年度の開園を目指します。

2 特徴やPRポイント

幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ認定こども園が整備されることにより、広く保護者の教育・保育ニーズに応えることが可能となります。
こうした認定こども園の整備により定員拡大を図るとともに、保育所の整備に伴い保育ニーズの高い３歳未満児の定員を拡大することで、待機児童の解消を図っていきます。

3 その他

整備に当たっては、厚生労働省及び文部科学省の補助金を活用する予定です。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部保育課　　担当　松村
連絡先　℡　048－524－1111　　内線　535

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」産後ケア事業

1 事業概要

【目的】
出産後１年未満の母子で、心身の不調や育児不安があり家族などから家事や育児の支援が十分に受られない方を対象に、心身の状態に応じた保健指導、療養に伴う世話又は育児に関する指導・相談その他の援助を行い、母子とその家族が健やかな育児ができるように支援します。

【内容】
市内の実施産科医療機関の空きベットを利用して、宿泊又は通所のサービスを提供します。
本市では、令和４年度から対象者を出産後３か月未満の母子から出産後１年未満の母子へ拡大します。
利用者の個人負担金は、住民税課税世帯の場合、宿泊では１日当たり５千円で、通所では利用する医療機関によって異なりますが、１日当たり３千円又は５千円となります。最大利用は、宿泊型では６泊７日まで、通所型で７日までとなります。

【経緯・経過】
産後ケア事業は平成２９年１０月に出産後３か月未満の母子を対象に開始していますが、当初は法的位置づけがなく先駆的に実施していました。その後、母子保健法の一部を改正する法律により、令和３年４月１日からは法的な位置づけとなり、対象者が出産後１年未満の母子に規定されました。

【効果】
低出生体重児等により入院期間が出産後３か月を超える場合がある事や、産後うつ病は出産後３か月を超えても発症することから、対象者が拡大されたことにより子育て支援の充実を図ることができます。

2 特徴やPRポイント

妊娠届出時に、出産後に支援が望めない事が予想される妊婦に対しては産後ケア事業の利用を勧め、妊娠中から出産後の支援の準備を整えています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　佐々木
連絡先　℡　048（525）2722　内線　ー

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」学校給食費第三子以降無償化事業

1 事業概要

【目的】
令和3年4月から開始した学校給食費第三子以降無償化事業は、小中学校に在籍する児童生徒が3人以上いる世帯における第三子以降の学校給食費の全額を補助しています。第一子の年齢要件を引き上げることにより、子育て支援を更に推進します。

【内容】
令和4年4月からは、第一子の要件を15歳以下から18歳以下に引き上げ、第三子以降の対象範囲を拡大します。

【影響・効果】
小中学校に在籍する児童生徒が3人以上の要件では対象者は約450名ですが、第一子の要件を18歳以下に引き上げると、対象者は約900名となります。

【事業費】
39,000千円

2 特徴やPRポイント

第一子の要件を18歳以下に引き上げることにより、現行の要件の約2倍の世帯を支援します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　小暮・高橋
連絡先　TEL048-524-1111　　内線　547

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
校外方式水泳授業導入事業

1 事業概要

【目的】
○専門家の指導による児童生徒の体力を伸ばすための水泳授業時間を確保します。併せて天候に左右されない計画的な学校運営と施設の老朽化に対応した効率的な施設管理を進めます。

【内容】
○令和３年度から実施している熊谷東小学校と成田小学校に加えて、三尻小学校と籠原小学校の児童について、水泳授業の校外方式を導入します。
○市内の民間水浴施設を利用し、約1時間の授業を96回（1学年4回×6学年×4校）予定しています。
○インストラクターによる泳力別の指導を実施します。

【効果】
○インストラクターによる的確な技術指導を受けることによって泳力の向上が期待できます。
○屋内施設であることから、季節や天候に左右されず、計画的に授業を進めることができます。
○教職員は、評価に専念できるため、児童生徒の達成状況を的確に把握することができるとともに、教職員の負担軽減に繋がります。
また、教職員は、児童の健康観察や見学者への対応を行うとともに、必要に応じてプールに入り、支援が必要な児童に対して個別指導を実施します。

2 特徴やPRポイント

○泳力別のグループに分かれて指導します。
【Ⅰ】水泳・水遊びが苦手な（もぐれない・浮けない・泳げない）児童のグループ
【Ⅱ】学年の目標を達成することを目指す児童のグループ
【Ⅲ】学年の目標は達成していて、より高い目標に向かう児童のグループ

○インストラクターを効果的に配置します。
【Ⅰ】個別の指導が必要なため、インストラクターを児童約１０名に１名配置します。
【Ⅱ】【Ⅲ】児童20～30名に1名のインストラクターを配置します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会学校教育課　　担当　柳澤
連絡先　℡048-524-1111　　内線　385

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校・中学校照明LED化の取組

1 事業概要

【目的】
児童生徒の教育環境の向上を図ることを目的とし、小中学校施設の照明ＬＥＤ化を行います。

【内容】
校舎や体育館等の照明器具は老朽化が進んでおり、教育環境の向上のために小中学校施設の照明ＬＥＤ化を行います。
令和４年度は債務負担行為を設定し、10年間のリース契約を行います。

【経緯・経過】
学校施設の照明の老朽化が進んでおり、照明ＬＥＤ化に取り組みます。

【影響・効果】
照明のＬＥＤ化を図ることで、児童生徒が安全で快適な学校生活を送ることができるとともに、電気代の削減効果も見込めます。

2 特徴やPRポイント

照明のＬＥＤ化により、学校施設の快適性が高まり、教育環境が向上するとともに、省電力化が見込まれます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　田谷・藤村
連絡先　℡048-524-1111　　内線　371

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校校舎大規模改造事業

1 事業概要

【目的】
児童生徒の教育環境の向上を図ることを目的とし、校舎の老朽化対策を行います。

【内容】
校舎の老朽化対策として、外壁改修、屋上防水等の工事を校舎の経年数や劣化度等を勘案し、毎年度計画的に実施します。令和４年度は、吉岡小学校を当初予算に計上し、成田小学校、籠原小学校の２校については、教室内も併せて改修することとし、令和３年度12月補正予算に計上し、令和４年度に繰り越して実施します。

・小学校（３校）・・・成田小学校、吉岡小学校、籠原小学校

【経緯・経過】
学校施設については、校舎や屋内運動場の耐震化工事が完了しましたので、今後は経年劣化した校舎の老朽化対策に取り組みます。

【影響・効果】
施設の老朽化対策を図ることで、児童生徒が安全で快適な学校生活を送ることができます。

2 特徴やPRポイント

校舎の改修により、学校施設の安全性・快適性が高まり、教育環境も向上します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　田谷・茂木
連絡先　℡048-524-1111　　内線　371

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
総合交通体系整備促進事業

1 事業概要

【内容】
　地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、少子高齢化の進展などの社会情勢の変化へ対応し、まちづくりとの連携や、地域公共交通だけでなく地域における輸送資源との連携も踏まえ、持続可能な交通サービスの実現を目指すため、これまでの「熊谷市地域公共交通網形成計画」に代わり、新たに「熊谷市地域公共交通計画（案）」を熊谷市地域公共交通会議で策定作業を行います。

2 特徴やPRポイント

　本市では、平成28年3月に「熊谷市地域公共交通総合連携計画」（平成23年3月策定）を継承した「熊谷市地域公共交通網形成計画」を策定し、鉄道、バス等との連携や近隣市と連携を図るなど、本市の公共交通ネットワークのあり方について検討してきました。
　令和4年度に策定する計画では、鉄道、バス、タクシー等の公共交通以外にも異分野連携としてスクールバスの児童の送迎時間帯以外の活用等について検討する予定です。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　○無　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　白根
連絡先　℡048-524-1115　　内線　215

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
地域密着型サービス等整備助成事業

1 事業概要

【目的】
県補助金「地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金」を活用し、民間事業者が運営する介護事業所を整備することにより、本市における介護サービスの一層の充実と利用者の利便性向上を図ります。

【内容】
市内に介護施設を開設する民間事業者に対し、施設の開設時に必要な初度経費（設備整備、職員訓練期間中の雇い上げ、職員募集経費、開設のための普及啓発費等）について補助金を交付します。

1　補助対象事業
　介護施設等の開設準備経費等支援事業（以下「開設準備経費」という。）
2　施設種別
　認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）１施設
3　補助金額　１５，１０２千円
　※既存施設を活用するため、開設準備経費のみ活用。

【影響及び効果】
民間事業者が運営する介護事業所を整備し、本市における介護サービスの一層の充実と利用者の利便性向上を図ります。

2 特徴やPRポイント

補助金については、下記の補助単価に基づき算出します。
開設準備経費
認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）
補助単価８３９千円×入居定員１８人＝１５，１０２千円

3 その他

認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）とは、認知症の高齢者に対して、共同生活住居で、家庭的な環境と地域住民との交流の下、入浴・排せつ・食事といった介護等の日常生活上の世話と機能訓練を行い、能力に応じ自立した日常生活を営めるようにするものです。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部長寿いきがい課　　担当　須藤
連絡先　℡524-1111　　内線　290

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
高齢者・児童ふれあいセンター大規模改修事業

1 事業概要

【目的】
箱田高齢者・児童ふれあいセンター（以下「当施設」という。）について、開館から３０年以上が経過し、施設設備の経年老朽化していることから、当施設の大規模改修工事を行い、高齢者及び児童の安心・安全な施設利用を図ります。

【内容】
当施設の大規模改修工事（内部改修工事、外部改修工事、改修設備工事及び改修電気工事）を行います。
事業費　　計２６７，２１３千円

【影響及び効果】
施設の改修により、高齢者及び児童の安心・安全な施設利用を図ります。

2 特徴やPRポイント

施設の改修により、高齢者及び児童の安心・安全な施設利用を図ります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部長寿いきがい課　　担当　中村・須藤
連絡先　℡524-1398　　内線　290

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
ワイルドナイツ連携事業

１ 事業概要

【目的】
　埼玉パナソニックワイルドナイツと連携し、来年度予定されている国際交流試合や新型コロナウイルス感染症対策を含めたホームゲームの運営、ファン層の拡大等を支援することで、地域に愛されるチームとして共にラグビータウン熊谷を推進します。

【内容】
　ジャパンラグビー リーグワンにおける熊谷での埼玉ワイルドナイツのホストゲームの試合運営に関する支援等を行います。
　埼玉パナソニックワイルドナイツや埼玉県ラグビー協会と連携し、イベント等の実施を促進することで、ラグビーを通した活気のある魅力的なまちづくりを推進します。

○ホストゲーム運営支援
　・熊谷で開催される埼玉パナソニックワイルドナイツのホストゲームに際し、チームが行う試合運営等の支援を行うほか、ファン層拡大等の支援を行います。
○シーズン終了報告会の実施
　・市民を対象とした埼玉ワイルドナイツのシーズン終了報告会を行い、市民とチームがさらに一体と
　　なるようシーズンを振り返り、来シーズンに向けて盛り上げていきます。
○各種広報媒体によるチームのＰＲ
　・市報や市ホームページ、ツイッター等を活用し、チームや所属選手の紹介等を積極的に行い、チームを盛り上げていきます。
　　「熊谷へラグビーを見に行こう」ホームページ及び市報では、「熊谷らぐ人（びと）」として、定期的に選手にインタビューを掲載しています。

２ 特徴やPRポイント

　埼玉パナソニックワイルドナイツは、「ラグビータウン熊谷」の最大の魅力であり、大きな柱です。チームと一体となってラグビーの普及・振興に取り組むことで、地域の活性化につなげていきます。

３ その他

【主なスケジュール】
令和４年４～５月　ジャパンラグビー リーグワン2022　ホストゲーム（3試合）
　　７月　シーズン終了報告会（今後チームと調整）
　　１２月　国際交流試合（予定）
令和５年　　１月　ジャパンラグビー リーグワン2023開幕

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部ラグビータウン推進課　　担当　新井
連絡先　℡　048-524-1135　　内線　341

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
全国さくらシンポジウム事業

1 事業概要

【目的】
公益財団法人日本花の会が主催する「全国さくらシンポジウム」を令和５年４月に熊谷市で開催し、「さくらのまち熊谷」の一層の知名度向上及び観光交流人口の拡大を図ります。

【内容】
「全国さくらシンポジウム」は、公益財団法人日本花の会の呼びかけにより、昭和５７年から桜の名所を有する全国の自治体で毎年開催されているシンポジウムです。桜の名所の修景や保全、観光振興やまちづくり等、桜に関する幅広いテーマについての講演やパネルディスカッション、現地見学会が２日間にかけて行われます。
令和４年度は、市内の関係団体により組織される実行委員会を主体として、シンポジウムの具体的な内容の決定や、開催の告知・ＰＲなど、熊谷市での開催に向けた準備を行います。

【効果】
シンポジウム開催を通して、本市の桜の名所等の情報を市内外に広く発信することで、市内各所に存在する桜の名所の知名度向上及び観光ＰＲにつなげます。
また、桜の保全活動等に関する取組を広く周知し、熊谷の美しい桜を永年にわたり楽しめるように、桜に関する知見を深めます。

2 特徴やPRポイント

・桜は熊谷市の市の花であり、市内には「日本さくら名所１００選」に選ばれている熊谷桜堤をはじめ、令和２年「第３０回全国花のまちづくりコンクール」で花のまちづくり大賞（国土交通大臣賞）を受賞した小江川１０００本桜など、多くの桜の名所が存在しています。
・埼玉県での「全国さくらシンポジウム」開催は平成１１年の栗橋町（現 久喜市）での開催以来２４年ぶりとなります。

3 その他

・令和４年２月下旬に、市内の経済・観光関係団体や桜の保全団体等による実行委員会を設立し、令和５年の開催に向けて準備を行います。
・令和４年３月２４日（木）、２５日（金）に、「全国さくらシンポジウムin岩国」（山口県岩国市）が開催予定です。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部スポーツ観光課　　担当　新島、小松原
連絡先　℡ 048-524-1111　　内線　349

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
第77期本因坊戦熊谷対局実施事業

１ 事業概要

【目的】
本因坊戦を本市で開催することで囲碁の一層の普及を図ります。また、囲碁に興じる布袋・恵比寿の彫刻で知られる妻沼聖天山歓喜院聖天堂の国宝指定１０周年を機に開催することで、熊谷の観光資源をＰＲします。さらに、対局場を熊谷ラグビー場とすることでラグビータウン熊谷をＰＲします。
【内容】
１　第７７期本因坊戦第２局熊谷対局
日程：５月２４日（火）・２５日（水）　会場：熊谷スポーツ文化公園ラグビー場
挑戦者は未決定ですが、井山祐太本因坊にとっては前人未到の11連覇が懸かっています。
２　関連事業
⑴第７回熊谷めぬま縁結び囲碁大会を第77期本因坊戦熊谷対局記念大会と位置付けて開催します。
日程：５月７日（土）・８日（日）　会場：妻沼中央公民館
一般・子供を対象とした１００人規模の囲碁大会や、専門棋士の多面打ちによる指導碁を行います。
⑵前夜祭
日程：５月２３日（月）　会場：熊谷スポーツホテルPARK WING
対局者を関係者、一般募集の市民により歓迎します。
⑶大盤解説会
日程：５月２５日（水）　会場：熊谷スポーツ文化公園ラグビー場
一般から観覧者を募集し、専門棋士による大盤解説を行います。
【効果】
囲碁文化の普及が図られるとともに、新聞・テレビ等による報道を通して、国宝・歓喜院聖天堂を中心とした観光資源やラグビータウン熊谷が広く紹介されるなどし、熊谷市の魅力が全国に発信されます。

２ 特徴やPRポイント

国宝指定の妻沼聖天山歓喜院聖天堂の本殿には、七福神の布袋・恵比寿の囲碁対局の場面並びに琴棋書画の彫刻があり、これが碁縁となり熊谷市で平成２４年第６７期、平成２９年第７２期と、今回３回目の本因坊戦対局会場となりました。
今回は熊谷らしさとしてラグビーワールドカップ２０１９が開催された熊谷ラグビー場で開催します。ともに陣取りゲームと言われる囲碁とラグビーの組み合わせから相乗効果を期待します。また、対局は日本棋院ユーチューブチャンネルで放映されます。

３ その他

共催　毎日新聞社、日本棋院、関西棋院、第７７期本因坊戦熊谷市実行委員会（※３月にも官民で組織し、事務局を熊谷市中央公民館（熊谷市仲町１９番地）に置きます。）
市からの補助金のほか、広く協賛を募り事業を盛り上げ成功させます。

※ 資料の有無（　有　・　○無　）

担当者　教育委員会中央公民館　　担当　倉上・橋本
連絡先　℡048-523-0894　　内線

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
市民協働「熊谷の力」歴史ロマン映像アーカイブス事業

1 事業概要

【目的】
市内に埋もれている歴史・文化や史跡、人物等を紹介する映像作品を制作し、現状での課題でもある市内外の認識度を高めるとともに、アーカイブス・デジタル化により、新たなツールを活かし、本市の魅力を世界に発信することを目的とします。
【内容】
熊谷市の歴史や文化などに対する市内外の認識度は必ずしも高いとは言えない現状の中、市民が参加し、資料調査や記録を行い、４Ｋ技術やドローン撮影などの最新技術を駆使し、約５分～約１０分の映像作品を制作する内容です。
【影響】
映像制作を通じて、広告代理店、民間企業の広報担当等への情報提供を行います。また、完成した動画はYouTubeで公開するほか、関連した講座を開催するなど啓発（アウトリーチ）を進めます。
【効果】
制作した映像データは、国立国会図書館や熊谷デジタルミュージアムのアーカイブスに所蔵するほか、映像に英語解説を加えるなどを含め、デジタル化、オープンデータとして対外的な利活用を図ります。これにより、熊谷の魅力ある映像記録を世界に発信することができます。

2 特徴やPRポイント

・制作作品コンテンツの例として、
国宝「歓喜院聖天堂」・熊谷うちわ祭・荒川と利根川の恵み・大里と江南の自然・日本初の公認女　　性医師 荻野吟子・熊谷と渋沢栄一・熊谷宿と中山道・熊谷聖パウロ教会と坂田医院旧診療所・熊谷の養蚕製糸と片倉シルク記念館・熊谷の小麦文化―麦王・権田愛三―・根岸友山・武香と根岸家長屋門・長島記念館・星溪園と茶道文化・星川彫刻プロムナード・元荒川ムサシトミヨ生息地・熊谷の仏像―平戸の大仏―・ラグビータウン熊谷・熊谷の伝統芸能・熊谷寺・愛染堂と藍染文化・熊谷の出土品―土器・埴輪を中心に―・名工による社寺建築の美・熊谷の絵画史・熊谷の工芸品―熊谷染と伝統技術―など２０件～３０件を予定します。
・市民協働により、歴史や風土に関連した映像作品コンテンツ制作を行う事業は県内初となります。

3 その他

事業運営の役割
・熊谷アーカイブス研究会
映像作品の制作、メディアなどに対する情報提供。完成作品の公開及び関連企画の運営。（過去に文化庁補助事業の映像制作事業を実施した実績あり。）
・江南文化財センター
制作する映像作品コンテンツの立案・監修。完成作品の公開に関する利用許諾等の調整。講座等啓発の際のレクチャー。

※ 資料の有無（　有　・　☐無　）

担当者　教育委員会・江南文化財センター　　担当　山下祐樹
連絡先　℡048－536－5062　　内線

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
郷土資料の電子化保存・公開の取組（図書館管理運営経費）

1 事業概要

【目的】
熊谷図書館の閉架書庫に保存されている郷土資料のうち、主に戦前に刊行された図書、写真類を電子化し、恒久的に保存するとともに、著作権の切れた資料を電子図書館でweb公開し活用を図ります。

【内容】
熊谷図書館に所蔵されている戦前の図書資料等のうち、特に劣化の激しい資料について電子化し保存するとともに、著作権の切れた資料については、熊谷市電子図書館で公開し、郷土熊谷の歴史を知るための資料として活用を図ります。
*電子化予定図書：明治45年刊『熊谷百物語』、大正6年刊『熊谷大観』、大正15年刊『熊谷大火災誌』、昭和14年刊『剣豪秋山要助伝』など77資料

【効果】
貴重な郷土資料を恒久的に保存することが出来ると共に、所蔵されている資料を公開し、郷土熊谷を知るための資料として活用することができます。

2 特徴やPRポイント

熊谷図書館は、明治44年に開館した県内でも2番目に古い公立図書館であり、火災や戦災を免れ、戦前からの古い図書資料が多く保存されています。戦前の図書資料は劣化が激しく、現在は閉架書庫に保管され、一般市民の目に触れる機会が無い状態となっています。これらの資料は、郷土熊谷を知る上で貴重な資料であり、電子化し恒久的に保存すると共に、熊谷市電子図書館でwewb公開し、閲覧が可能な状態にして活用を図ります。
熊谷図書館は、県内で電子書籍数が17,100点で最も多く、郷土資料のデジタル化公開は、県内で初の事例となります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会熊谷市立図書館　　担当　森田
連絡先　℡048－598－4885　　内線

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
担い手育成支援事業

１ 事業概要

【目的】
担い手となる農業者を支援します。

【内容】
・個人から法人化した農業者に１０万円を助成します。（市単独補助金：補助率１０／１０）
・原則４９歳以下の強い営農意欲を有している新規就農者に対し軌道に乗るまでの３年間年間１５０
万円を給付します。（国庫補助金：補助率１０／１０）
・人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる農業者に規模拡大等を図るために必要な農業機
械等を導入する際に事業費の３／１０以内（上限額３００万円）を助成します。
（国庫補助金：補助率１０／１０）
・担い手の経営を継承した後継者が経営発展に関する計画を策定し、これを実行するための経費（上限額１００万円）を助成します。（国庫補助金：補助率１／２、市補助金：補助率１／２）

【影響】
農業者が目指す農業経営の実現を支援します。

【効果】
農業者の営農継続を支援することで、農作物の生産・安定供給、遊休農地の解消、地域環境の保全等につながります。

２ 特徴やPRポイント

これまで、新規就農支援、農業機械購入支援、法人化支援等個別の事業でしたが、農業の担い手支援という大きな枠組みの事業の中で支援します。

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　産業振興部農業振興課　　担当　田島
連絡先　℡048－588－1321　　内線　343

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」農産物ブランド化推進事業

1 事業概要

【目的】
熊谷市の農業振興による地域の活性化と農業者所得向上のため、熊谷市農産物ブランド化推進協議会を中心に、熊谷産の農産物及び農産物を使用した加工品のブランド化を図り、付加価値をつけた農産物の生産を推進します。

【内容】
農産物の生産・流通・加工・販売・消費に係る団体、教育機関及び行政等で構成する、熊谷市農産物ブランド化推進協議会が行う、農産物及び農産加工品のブランド化推進事業に要する経費について補助金を交付します。

実施主体：熊谷市農産物ブランド化推進協議会
事業内容：
① 農産物のブランド認証・農産加工品のブランド認証
農産物及び農産物加工品のブランド認証基準を策定します。
② 新規農産物の生産喚起・新規農産加工品の開発喚起
市内農業者等で、新規農産物の生産や新規農産加工品の開発にチャレンジする者から事業プランを募集し、優秀事業プランに補助金等を支援することにより､ブランド化を推進します。
③ 熊谷市の農産物と農産加工品の情報発信をします。

【期待される効果】
・『熊谷と言えばこれ』という農産物及び農産加工品を積極的に情報発信し、熊谷産の農産物の流通・販売量を増やすことにより、農業者の所得を向上させ、熊谷市の農業の活性化を図ります。
・『チャレンジする農業者等』を応援することにより、新規農産物の生産や新規農産加工品の開発の意欲を喚起します。

2 特徴やPRポイント

・農産物ブランド化を目指すプレーヤーを公募し、優秀事業プランに補助金等を支援することにより、ブランド化を推進します。
・プレーヤーは農業者だけでなく、農業者と連携した事業者も対象となります。
・「熊谷ファームラボ補助金」として３段階のステップアップ方式の補助制度によりチャレンジャーを掘り起こし育成します。

3 その他

・「熊谷ファームラボ補助金」
①農産物：STEP１=基礎研究=10万➡STEP２=収穫流通=15万➡STEP３=ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化認定=25万円
②加工品：STEP１=基礎研究=30万➡STEP２=製品流通=45万➡STEP３=ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化認定=75万円

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部農業振興課　　担当　田口
連絡先　TEL 048－588－9987（直通）　　内線　－

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
ほ場整備事業

1 事業概要

【目的】
ほ場整備は小区画・不整形な農地を大区画・整形に整備するとともに、農道、用排水路、暗渠排水等の整備を総合的に実施し、生産性の高い農地をつくる事業です。

【内容】
埼玉県営で実施される以下の地区のほ場整備事業に負担金を支出します。
・池上地区　14,342千円（68.7ha　平成２９年度～令和５年度予定　総事業費939,400千円）
・下増田地区 7,445千円（24.1ha　令和元年度～令和５年度予定　総事業費371,600千円）
・日向地区　 3,675千円（43.7ha　令和２年度～令和４年度　農業基盤整備基礎調査）

【効果】
農業生産性の向上及び農業構造の改善により、担い手への農地利用集積が図られ安定的な大規模経営が可能となります。

2 特徴やPRポイント

・池上地区ほ場整備事業により（仮称）道の駅「くまがや」の用地を創設します。
・下増田地区及び日向地区は、現在の農地の区画、道路や水路を活用した低コストな「埼玉型ほ場整備」を採用し、換地を伴わない手法により農地集積を図ります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　○無　）

担当者　産業振興部農地整備課　　担当　大島
連絡先　℡588-1325　　内線

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」池上地区「道の駅」整備事業

1 事業概要

【目的】
（仮称）道の駅「くまがや」の整備により、道の駅としての機能に加えて、熊谷流の農業・食文化を「育てる」、「発信する」ことを通じ、産業、観光、市民活動を活性化し、住民や来訪者を「元気にする」地域活性化拠点を実現します。

【内容】
池上地内の国道１７号熊谷バイパスと国道１２５号の交差部に、「日本を代表する食のテーマパーク」をコンセプトとし、未来の地域・社会の担い手である「子ども」の成長を支援するというテーマを併せ持つ、個性ある道の駅を整備します。
令和４年度は、埋蔵文化財の発掘調査の他、工事に一部、着手します。

【効果】
農業振興、情報発信、地域交流の拠点として地域の課題解決に寄与するとともに、本市の魅力を全国にＰＲし、地域振興を図ります。

2 特徴やPRポイント

・面積約７ヘクタール、駐車場台数が小型・大型合せて約４００台と、関東有数の規模を誇る駐車場を整備します。
・駐車場やトイレのほか、新鮮な地元野菜を購入できる農産物直売所、レストランやフードコート、カフェ、さらには、子ども達が安心して遊べる大型の室内遊び場を設けます。
・熊谷市初のＰＦＩ事業として令和５年度の事業者公募を予定しています。

3 その他

現在の事業進捗として、令和３年度は、ＰＦＩ事業を実施するにあたり、事業者の募集等に必要な調査・検討及び資料作成等を行っているほか、埋蔵文化財の発掘調査、道路や上下水道の詳細設計を実施しています。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　産業振興部東部地域開発推進室　　担当　荻野
連絡先　℡048-580-4622　　内線　532

（仮称）道の駅　「くまがや」イメージ

※関係機関との協議などにより変更となる場合がございます

スクスク!クマガヤ





出典：（仮称）道の駅「くまがや」整備計画より

休憩機能

24時間無料で利用できる駐車場やトイレ等の休憩機能

【施設例】24h利用可能な魅力的なトイレ、駐車場、電気自動車用急速充電スペース、駐輪施設



出典：内閣官房
トイレ事例集



出典：道の駅
「ひたちおおた」HP

情報発信機能

24時間利用可能な道路情報提供コーナー等の情報発信機能



出典：E-NEXCO Drive Plaza HP

防災拠点機能

災害発生時の一時避難場所としての利用や応急対策・復旧活動を支援する防災拠点機能

【施設例】災害用トイレ、貯水槽、自家発電機、備蓄燃料保管タンク、防災備蓄倉庫、無料公衆無線LAN、スマートフォン充電設備、AED





出典:国土交通省「道の駅」の災害時における活用について

地域連携機能

■食の提供・理解醸成機能

来訪者をもてなすとともに、熊谷の農業・食文化のブランド化を図るための食の提供・理解醸成機能

- 新鮮な地元農産物やそれらを活用したここでしか買えない農産物加工品等の販売
- 「健康」「オーガニック」「スポーツ」等をテーマとした健康食・アスリート食等の提供
- 暑さと絡めたアイス、かき氷等のひんやりスイーツの提供

【施設例】農産物直売所、加工品販売所、飲食施設



出典：道の駅「米沢」HP



出典：仙台場外市場
杜の市場HP

■農業体験機能

来訪者が農業を体験したり、自ら収穫した農産物を味わう機会等を提供する農業体験機能

- 果実狩りや野菜収穫を行える体験農園
- 農業体験イベント等の定期的な開催

【施設例】農園（体験農園、市民農園等）



出典：道の駅「くりもと　紅小町の郷」HP

■連携支援・加工機能

６次産業化の推進等に向けた連携支援・加工機能

- 地元農産物を活用した新たな加工品開発・流通
- 加工品等のインターネット販売
- 農業参入に向けた農業者、農業系教育機関、食関連企業等の連携・交流
- 農産物加工場の見学や加工の体験ができるツアー等の企画・提供

【施設例】農産物加工・流通施設



出典：さいさいきて屋HP

育てる　農産物のブランド化・6次産業化を含め農業・食文化を育てる「農業振興拠点」

元気にする　食の体験・交流を通じ住民や来訪者を元気にする「地域交流拠点」

■交流・地域活動機能

人が集い、楽しみ、交流することができる交流・地域活動機能

- 各種イベント開催や趣味サークル料理教室等の活動の場
- 気軽に利用できる屋内外の休憩・交流スペース

【施設例】屋外・半屋外のイベント広場
屋内外の休憩・交流スペース、キッチンスタジオ



出典：道の駅
「ひたちおおた」HP

■子育て支援機能

広く子育て世代を応援するため、親子が安心して集える子育て支援機能

- 子育て世代が外出する際の目的地となるような子ども・家族の遊び場
- 乳幼児から小学生までの子どもが遊ぶことのできる食育や知育等の要素を加えた広い屋内遊び場

【施設例】屋内外遊び場、水遊び場、一時預かり所
妊婦向け屋根付き優先駐車スペース



出典：キッズピアあしかがHP

■交通機能

道の駅に公共交通機関により直接アクセスできる交通機能

- より多くの人の立寄りを促すためのバス路線

【施設例】バス停、待合スペース



出典：熊谷市HP、麻布十番モンタボーHP
ウスキングベーグルHP、東京アスリート食堂HP
阿里山カフェHP、梅月堂、買えるくまがやONLINE HP
ヤマザワHP、さいたま逸品ぐるめぐりHP、秩父市HP

発信する　本市の東の玄関口として熊谷の魅力を発信する「情報発信拠点」

■案内・誘導機能

観光名所やイベント情報をはじめとした地域資源を案内し、市内観光周遊への誘導を促進するための案内・誘導機能

- 観光名所やイベント情報、市内飲食店や小売店等を紹介するパンフレット・チラシ等の提供
- 熊谷スポーツ文化公園で開催される各種スポーツ大会・イベント情報の発信
- 地域ＦＭラジオ局との連携、観光ツアー企画・提供

【施設例】多言語対応の観光総合案内窓口
情報提供コーナー、市内飲食店等の紹介コーナー



出典：道の駅「米沢」HP

■情報発信・広報機能

知名度が十分でない地域固有の資源を含め、来訪者をはじめ全国に向けて歴史・文化・地域資源等を広く発信する情報発信・広報機能

- 熊谷の農業・小麦文化や伝統工芸・特産品の紹介
- 文化財や縁ある偉人、遺跡、ラグビータウン熊谷等の紹介
- 暑さ対策設備の設置による取組みのＰＲと来訪者への憩い・おもてなしの提供

【施設例】熊谷の農業・歴史等の紹介コーナー、
冷却ミスト装置・人工日除け等の暑さ対策設備



＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
荒川公園周辺再整備事業

1 事業概要

【目的】
熊谷市立市民体育館の耐用年限の到来に伴い、除却後に新体育館を隣接する荒川公園と一体的に再整備することで、エリアの賑わい創出を図るとともに、その中核として、新体育館をこれまでの「するスポーツ」に加え「みるスポーツ」に対応（Ｂリーグやｖリーグといったプロスポーツ等を積極的に誘致）させた、市のシンボルとなる施設として再整備を行うことを目的としています。

【内容】
新市民体育館（仮称）の整備に向け、基本計画策定及び民間活力導入可能性調査を実施します。その他、計画を実行するために必要な調査を実施します。

【経過】
令和３年度に基本計画策定及び民間活力導入可能性調査に着手していますが、業務スケジュールを一部変更し、令和４年度に基本計画を策定します。

2 特徴やPRポイント

・熊谷市立市民体育館は昭和40年に建築され、平成14年度の屋根や外壁等の大規模改修を経て、令和7年に耐用年限である築60年を迎えます。
・「熊谷市個別施設計画」における再編方針として、「周辺も含めた再整備を検討」、「耐震化は実施せず耐久年限到来により除却」、「（仮称）新市民体育館への機能移転を想定」としています。
・多くの市民利用や学生などによる各種スポーツ大会が開催されてきましたが、これまでの「するスポーツ」に加え、熊谷駅からのアクセス性や利便性に優れたポテンシャルの高いエリアであるため、スポーツツーリズム推進の観点から、より「みるスポーツ」を重視した大規模イベントに対応できる施設整備を目指します。
・第2次熊谷市総合振興計画に掲げる「スポーツによるまちづくりを推進する」にも合致した事業の位置付けとなります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部スポーツ観光課　　担当　細田、松島
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　513

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」創業支援事業

1 事業概要

【目的】
創業時の事業所内外装工事費及び広告宣伝費を補助し、本市で起業を目指す方を支援し、創業を応援します。

【内容】
補助対象：事業所の内外装工事費及び広告宣伝費
補助金額：補助対象経費の2分の1以内（上限20万円）
その他：
・創業者への補助金を「創業者応援補助金」と名称を改めます。
・補助対象を事業所内外装工事費及び広告宣伝費とすることで、業種や業態にかかわらず活用しやすくなります。
・熊谷商工会議所又はくまがや市商工会に創業計画書を確認していただくことを条件にすることで、創業時から支援する関係を築きます。
・申請から交付の手続きがシンプルになります。

現行制度
・固定資産税に相当する額を３年間にわたり補助
・指定創業者の申請後、３年間にわたり手続きが必要

2 特徴やPRポイント

・業種や業態にかかわらず申請しやすい補助制度としたことで、市内で創業する方々を応援します。
・事前に熊谷商工会議所又はくまがや市商工会に　創業計画書を確認していただくことで、きめ細かく効率的に経営を支援していくことができます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商工業振興課　　担当　大谷
連絡先　TEL048-524-1111　　内線　467

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化した施設や更新の難しい施設を集約・複合化し、子供から高齢者まで世代を超えて、また、市民活動、公民館活動、事業活動などの分野を超えて、様々な人々が「集まり」・「出会う」交流の拠点となる施設を整備し、「市民の活躍の場」を創出するものです。

【内容】
各生涯活動センターに共通する、コミュニティセンター機能、市民活動支援センター機能、及び公民館機能に加え、婦人児童館、勤労青少年ホーム、勤労会館、勤労者体育センター等の機能を集約する（仮称）第２中央生涯活動センターの整備に向けて、令和４年度は基本構想・基本計画の策定及び民間活力導入可能性調査等を行います。

【効果】
生涯にわたる生きがいに出会える場所が創出されるとともに、それが「まちの活性化」につながることが期待されます。

2 特徴やPRポイント

「公共施設等総合管理計画」及び「個別施設計画」に基づき整備します。

■開設年度：　令和９年度（予定）
■建設予定地：熊谷市勤労青少年ホーム（勤労会館及び勤労者体育センター）敷地内
（熊谷市石原１４０７－１ほか）
■敷地面積：１，０００㎡程度
■延床面積：３，０００㎡程度

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部市民活動推進課　　担当　三友
連絡先　℡048-524-1111　　内線　330

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
生活道路及び排水路の整備の推進

1 事業概要

【目的】
地域の利便性及び通行の安全性に配慮した生活道路の整備と、道路の維持管理や排水路整備を行い生活環境の改善を図ります。

【内容】
・道路整備事業
陳情・要望による、地域の狭あいな生活道路の拡幅改良、側溝整備及び舗装新設等を「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」に基づき、必要性・緊急性を評価し実施します。
・道路維持経費
幹線道路や生活道路の老朽化した舗装補修と街路樹等の管理を行います。
・排水路等維持管理経費
排水路環境改善のための整備や除草等の管理を行います。

【効果】
生活道路の利便性の向上、道路の適切な維持管理により良好な生活環境を創出します。また、排水路整備等により適正な流れを確保し、水路環境の改善を図ります。

2 特徴やPRポイント

・道路整備事業
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
・道路維持経費
積極的に補修や整備を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。
・排水路等維持管理経費
除草作業の軽減を図るため、防草コンクリート施工による恒久的な対策も講じます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部　道路課　担当　杉浦
建設部　維持課　担当　金子
建設部　河川課　担当　茂木

連絡先　（道路課）TEL 048－524－1111　内線 352
（維持課）TEL 048－524－1111　内線 543
（河川課）TEL 048－524－1111　内線 355

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
通学路整備事業

1 事業概要

【目的】
通学児童等の安全を確保するため、通学路に歩道を整備します。

【内容】
久保島地区で玉井小学校と玉井中学校の通学路となっている市道４０４３５号線と市道４０４３６号線のＪＲ高崎線の踏切から玉井堰幹線用水路までの間、約６９５ｍについて歩道を整備します。
令和４年度は現況測量を実施します。

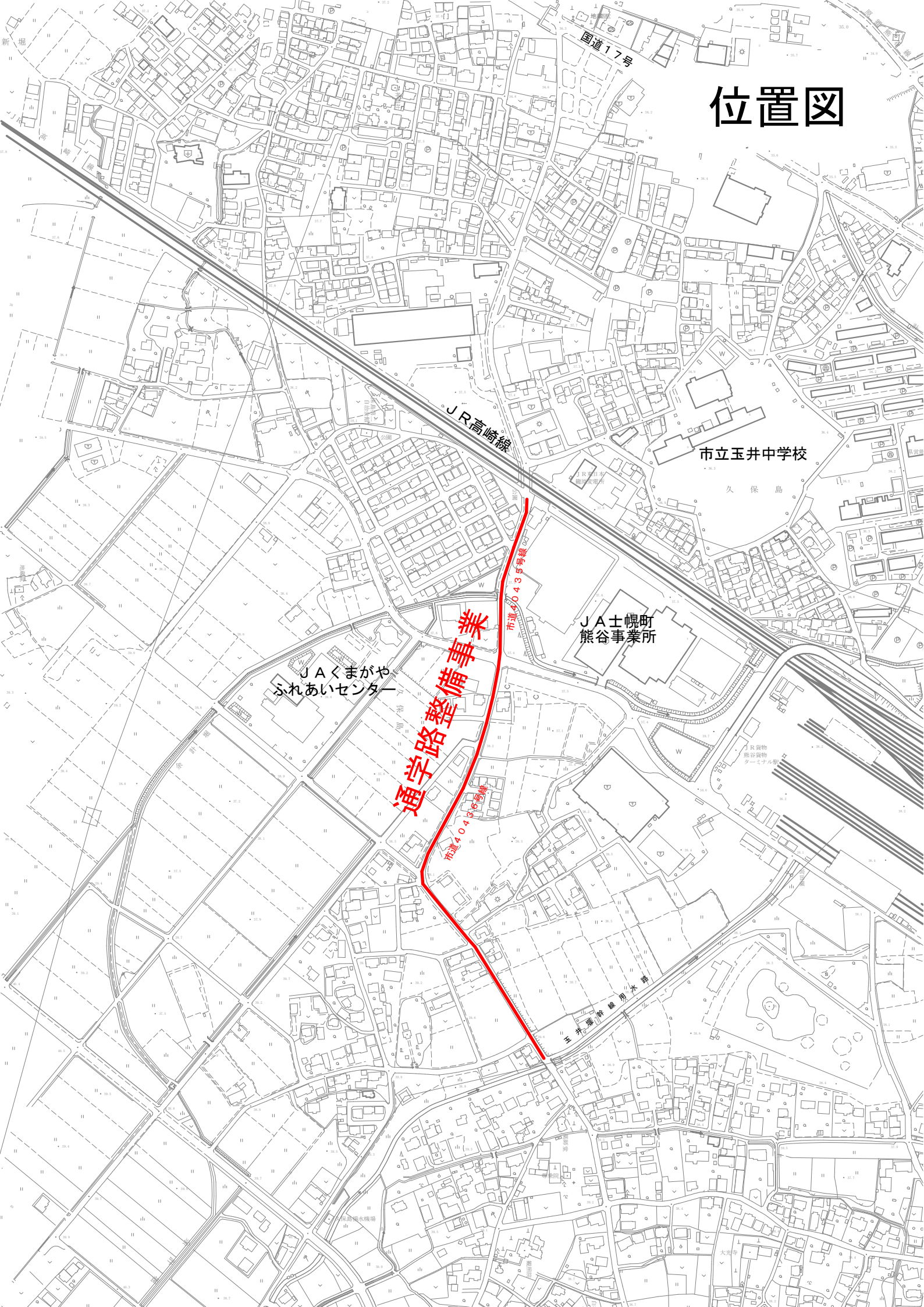
2 特徴やPRポイント

歩道が整備されることにより、登下校時の児童・生徒の安全性が高まり、周辺住民の利便性の向上も図れます。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部 道路課　担当　萩原
連絡先　（道路課）℡　048－524－1111　内線　350


位置図
国道１７号
ＪＲ高崎線
市立玉井中学校
ＪＡ士幌町
熊谷事業所
ＪＡくまがや
ふれあいセンター
通学路整備事業
市道４０４５号線
市道４０４６号線
玉井幹線用水路

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」スマートシティ推進事業

1 事業概要

【目的】
市長の掲げる７つの基本政策の実現に向け、第６「将来を見据えた熊谷を創ります」の施策の一環として、「スマートシティ」を推進するものです。
「スマートシティ」の取組は、まちの魅力向上を図るため、先進的技術、官民データなどを活用し、快適で暮らしやすい、持続可能な都市を目指し進めていきます。

【内容】
令和４年度は、熊谷スマートシティ推進協議会の活動を支援をします。スマートタウン事業化に向けた調査事業、各種データの利活用検討調査事業、熊谷まちあるきアプリ「くまぶら」の運用経費を負担します。

【経過】
本市も参画する熊谷スマートシティ推進協議会の取組は、国土交通省のスマートシティモデル事業において、令和２年度は重点事業化促進プロジェクトに選定され、令和３年度は先行モデルプロジェクトに選定されています。

【効果】
スマートタウンの事業化は人口減少対策の一助となり、また、新技術やデータを活用したまちづくりを進めることで、まちの魅力向上を図ります。

2 特徴やPRポイント

地域の課題解決のため、公（行政）・民（企業・団体等）・学（学術機関）が一体となって熊谷スマートシティ推進協議会を運営しています。それぞれの知見を持ち寄り「スマートシティ」の推進を図ります。

3 その他

令和３年度は、LINEを活用した「くまぶら」アプリを立ち上げ、埼玉パナソニックワイルドナイツの試合に合わせてクーポンの配信やスタンプラリーの実施、気象情報の提供を行いました。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　竹村・大澤
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　228,528

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スポーツ・文化村Wi-Fi環境整備事業

1 事業概要

【目的】
生涯学習センター「熊谷市スポーツ・文化村くまぴあ」に、WEB会議、無観客試合に対応できる無料Wi-Fi環境を整備し、施設の利便性・利用者数の向上を図るとともに、コロナ禍において新しい生活様式を踏まえた活動を支援します。

【内容】
会議用７施設、絵画等展示用１施設、体育施設５施設（体育館内３施設、屋外グラウンド２施設）にWi-Fiアクセスポイントを設置します。

【経緯】
新型コロナウイルス感染症の発生以降、感染症防止対策を講じながら施設の貸出を行っているが、利用人数等の制限により活動の中止や参加者、大会観覧者が激減している状況にあり、利用団体等からライブ配信での参加・観覧に対応できる環境設備の要望に応える必要があります。

2 特徴やPRポイント

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することが予想される中、生涯学習センター「熊谷市スポーツ・文化村くまぴあ」に「新しい生活様式」に対応した設備を整備することにより、新たな施設利用の形態を創設することで、生涯学習活動の継続を支援し、利用者数向上を図ります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会社会教育課課　　担当　倉田
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　389

＜速報＞
令和4年度当初予算（案）概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
武道館大規模修繕事業

1 事業概要

【目的】
個別施設計画に基づき、利用者の安全性や快適性の観点から大規模修繕工事を実施し、武道館の長寿命化対策を行います。

【内容】
経年劣化部の補修、バリアフリー化工事、暑さ対策、雨漏り対策等の修繕工事を実施します。

【効果】
大規模修繕を行うことで、利用者の利便性を図り、施設の長寿命化をすることが可能となります。

2 特徴やPRポイント

・耐用年限（2051年度）まで大規模な修繕が生じないよう工事を行います。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・（無）　）

担当者　総合政策部スポーツ観光課　　担当　松島
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　349

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
消防本部庁舎大規模修繕事業

1 事業概要

【目的】
市の消防行政の中心的な役割を担う消防本部・熊谷消防署庁舎の継続使用を見据えて、熊谷市個別施設計画に基づき大規模工事を実施します。
約４０年にわたり使用された庁舎の老朽化に対処する修繕工事とあわせて、年々変化する業務形態や各種災害対応に必要な資器材の効率的な保管などに対応するべく庁舎の改修を行います。
期間は３か年を計画しており、令和４年度は設計委託を行います。

【内容】
・外壁は補修、防水、塗装等の工事を計画しています。
・給排水管設備や電気設備の改修工事を計画しています。
・屋内は事務室、会議室、車庫等の改修を計画しています。
・その他、受水槽など付帯設備の改修を計画しています。

【影響・効果】
現在の立地で、現在の施設を有効活用した上で、未来に継続的に使用できる職場環境を整えることができます。

2 特徴やPRポイント

・消防庁舎は執務空間や訓練施設などの役割のほか、職員の食事や仮眠などの生活空間としての役割を含めているのが特徴です。また、年中無休かつ２４時間使用していることから、同時期に建築された他の公共施設と比較すると、老朽化や設備劣化がより進行しています。

・老朽化した施設の修繕だけではなく、建設した当時には想定されていなかった業務形態のＯＡ化やＩＴ化に対応できる職場環境の形成を目標に改修します。

3 その他

・令和４年度に設計委託を行い、令和５年度に設計を基にした工事内容の精査と工事予算要望を行い、令和６年度に工事予定です。

・職員の新型コロナウイルス感染拡大予防のための緊急対策として、令和２年度には仮眠室の個室化改修工事、令和３年度にはシャワー室の個室化改修工事を実施しました。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　消防本部消防総務課　　担当　青木
連絡先　℡　501-0119　　内線

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
庁舎フリーWi-Fiの提供(情報管理業務経費)

1 事業概要

【目的】
来庁者の利便性向上と通信経費抑制による経済的負担の緩和を図ります。

【内容】
メールアドレス等によるWi-Fi接続認証を実施するための認証用設備を導入し、窓口サービス提供用に整備した本庁舎及び行政センターのインターネット接続に利用している回線の一部をフリーWi-Fiとして一般開放します。

【効果】
・契約回線を有しない市民や外国からの転入者の方を含め、来庁された方どなたでも無料でインターネット接続ができます。
・認証による利用者及び利用記録を保存することで、悪意のある利用者による不正な接続を抑制し、フリーWi-Fi利用者へのセキュリティリスクを低減します。
・災害発生時の携帯電話網の通信障害時でも、連絡手段として利用できます。

2 特徴やPRポイント

手続のオンライン化その他の行政デジタル化の推進と併せ、回線契約を有しない方を含め、誰でも行政デジタル化の恩恵を受ける機会が確保できるよう取り組んでまいります。

3 その他

外国籍の方や障害をお持ちの方などとの窓口応対にも、タブレット端末を導入しアプリを活用したサービス向上と対応時間の縮減を図ります。

※ 資料の有無(　有　・　無　)

担当者　総合政策部情報政策課　　担当　森
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　490

＜速報＞
令和4年度当初予算(案)概要
令和4年2月15日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
テレワーク環境整備事業

1 事業概要

【目的】
感染症防止による行政機能の維持や職員の働き方改革の推進を図ります。

【内容】
令和2年度整備したテレワーク専用端末56台に加え、本庁舎内にパソコン50台分の仮想のワークスペースを新設し、庁舎外から接続・操作する方式を新たに採用します。

【効果】
出勤者数を約12.5%抑制できます。
（令和４年１月現在テレワーク実施31課（職員数426人）を対象に算出）

2 特徴やPRポイント

・地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が提供する「自治体テレワークシステムfor LGWAN」を活用します。
・汎用のインターネット回線からJ-LISのデータセンターを経由し、LGWAN回線から庁内ネットワークへリモート接続します。
・専用端末50台を増設するほか、職員の私有パソコンも利用可能です。
・セキュリティレベルの不明確な職員の私有パソコンから接続しても、庁舎側に用意した仮想のワークスペース内で作業するため、庁舎ネットワークへコンピュータウィルスが持ち込まれるなどのセキュリティリスクなく運用が可能です。
・濃厚接触が疑われる場合などの急な出勤自粛等、事前に専用端末の持ち帰りが困難な場合にも対応可能です。

3 その他

職員の私有パソコンで利用が可能なため、育児休業中の職員の復職前の情報提供などへの活用も想定しています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部情報政策課　　担当　森
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　490